

126. 5月

(ホリエウ)

(生き方次第) (宮原貴子)

世の中、昔から、理不尽で不公平な事が
はびこってきた。負の言葉や感情は、利用
されたりする人もいる。何も伝えなければ
始まらない事始まる事。例えばあなたに向
けられた悪口一言をどうとるか?あるいは独
善的に行いや言葉が人をどう動かすかとか?
確かに人にストレスを、負の言葉で不幸にして
酒の肴にする様な性格の悪い人はいる。
しかしそれよりタチが悪いのは、好きでもない
のに人の弱みにつけ込んで目先の利益、メリ
ットに興味があるかないかだけの横着物。
港にはびこる横着者。生きていけばウソも真実
も含めて、寄り道回り道だのを面倒がって
いても、実際にそれに伴う苦労で分かる事
もあるし、好きか嫌いかわり、どういう自分で
生きていきたいかだと思ふ。自分の不幸を、
人のせいにしてみても、責任をとるかとらないかは
相手次第。ならば、自分の心の本当の声は何か
あっても無視してはいけない。

R6.5月

(ホエン)

(本当の美しさ) (宮原 貴子)

人は容姿、性格、生まれた所、肌の色、様々な理由で勝手な事を言っ、笑って居る。本当のその人の美しさの意味も考えないで。実は、無責任な冷たい言葉なんて、言われるより言っている人の姿の方が一番醜みにくいかもしれないよ。そう言っ、笑っ、やればいい。どんなにキレイな服を着ていても、心にウソの上塗りをして、分かる人には分かって居る。どんなに完璧で抜かりのない罪も、いずれ、どこかごとくすれさる。あなたの愛した人はどんな人？、義表面的な理由で、苦しめた人？ 苦しんだ人？ あなたの愛した人は、障害のある人？ 病に苦しむ人？ それとも誰から見ても一見、何の問題も無い人？ 人には、色々な理由で、または色々な意味で、過去や現在や見先の事で、人を見て考えて居るけど、やっぱり、生きてみなければ、分からない事の方が多いよ。だから胸を張って生きるんだ。本当の美しさを考えながら生きるのさ。

(歌詞)

(あの幸せと共に) (宮原貴子)

初めてあなたと出会った日はちょうど天気
の良い昼下がり、何気なく交わしたあいさつ
何となく「いいね。」と思った日だった。何度か、
会う内に、今 ~~あなた~~ あなたの姿が心を離れ
なくなっていつの日か叶うか分からない恋心と
という名の願いが時を重ねてきて。不安と、
伝えなきゃ、勇気、何より飾りのないこの気持ち、
初めてあの時と同じような思い出の場所で「好
きです。他の誰でもないあなただから」と告げた。
あなたは涙を流し、「乗僕は待っていたよ」と返
してくれた。何度も重ね合う同じ時の中で、上手
くいくこといかに涙したこと何よりどんなときも
1つだった事。忘れないで。私が病に倒れ、亡く
なった後も、時は変わらず流れるけど私を思
い出したとき、幸せだった そう言うてくれたら、
私はそれでいいから、そはーにいる事はできなく
ても、あなたは1人ではいてはいけない。あの頃
の新しい自分と会って新しい幸せを生きていくの。

(ホエム)

(人生のスポットライト) (宮原貴子)

今あなたはどんな顔をしてるの？色々な事
あったよね。今も悩んでる事あるかな？
誰もが夢見る、夢語った頃 無気力でいら
た頃を過ぎて、今あなたの見ている先は何
があったの？人に言える事言えない事抱えて
ここまで頑張って生きてきたよね。ブラウン管
ではスポットライトを浴びた人達が今日も歌っ
てる。でもあなた方のステージはいつもここから。
いつの日か、夢見た事叶ったかな？誰もが
お陽様という名のスポットライトを浴びて輝ける
日がきっとくるから。あなたを呼ぶ人がいる
限りきっと一人じゃない。もし誰もいなくても
世界が待ってる。歌えおどれあなたは人生
のスター。あなたを応援してくれたかつての
思い出、背中を押してくれた言葉。誰もが
夜お陽様の下で咲けば夜のネオンがある。
どこにいても輝けるんだよ。素敵だよ今
日も、あなただけのバックミュージックで今日も歩
こう。

(ホエム)

(生まれて生んで) (宮原貴子)

今日もまたどこかで命が誕生する。自分が
どうしてこの世に生まれてきたかの理由など
関係なく。~~その~~世に生まれてきた子は、どん
な未来を生きるか分からないまま、ただ泣いて
いる。快樂なのか罪なのか？それとも愛されて
望まれたのか？同じ命じゃない。親と同じ
人じゃない。あなたもそうやって生まれて育まれ
たのだから。今日もどこかで冷たい雨が降る。
幼子も、親も恵まれていないのは、何故だろ
う？どこかに生まれても、どこかで色んな命が
消える。恵まれない親と幼子にさびしい歌が
流れてる。心のどこかに愛を忘れられたまま。
呼び覚ませ呼び覚ませあなたの心に残された
最も大事な言葉。何を守らなければならな
かったか。見て欲しい、手を差し伸べて欲しい。
そう叫んでもいい。必要ならば裁きを下して
もいい。誰か、あなた方を救わぬまま、冷たい
目で見る権利があるだろうか？そんなのありはしない。

R6.5月

(ホエム)

(切なさいの世界) (宮原貴子)

今に始まった事じゃない、どこの時代でもいつの世界にも繰り返されてきた。消えてしまった歴史の中の人の叫びと命、弱者から強者まで、様々な理由で消えていく、平和な時ですら満足する生きる理由などどこにも見つからず、ただ心の叫びを残したまま時をさまよって。消えてしまいたい程の辛い思い、過去にも今にもあっても、消えてしまったら、未来がくる事は二度とない。生まれ変わったらという人もいるけど、じゃあ、あなたの歴史はどうなるの？ どうでもいい事なんて誰にもないはずだから、どこにもないはずだから、居場所も、話も、いずれ、形になる。オリジナルの形になってあなたの世界になる。それは命と共に存在していた事は確かだから、涙を流しても、後は虹となって未来への架け橋となる。命を粗末にする時代はどこも殺伐。どんなルールを作っても、手からこぼれるしなく、いつか救われるように。

26.5月

(ホエム)

(友達の彼女) (宮原貴子)

彼女はそばに愛する人がいつもいた。ずっと前から見ていた人。愛した彼は大事な友達。僕の昔からの友達だ。友達のそばに僕の想いを伝えたかった人。どちらも好きで、見ていた。あきらめられないから、でも、どちらも選べないから、見ていただけ。普段は仲良しの友達と友達の彼女として付き合っていたフリしただけの仮面。一人で家に帰れば、切ない思いが心苦しくて。だんだん見続けていくのが辛くなった僕は、夢を装って、旅立つ。サヨナラ。見ていただけの愛した人。サヨナラ、好きな友達。新しく出会う人は、こんな僕を、どれだけ見続けてくれるだろうか？ どれだけ愛し合えるだろうか。また、恋が敗れたりしないだろうか？ いや、自分が選んだ人だから、結末がどうだろうか、愛した事は間違いないから、せめて、また、新しい君に会いたい。今度は、仮面の無い本当の僕で会いたい。いくら花は散っても。

26.5月

(ホエム)

(心のばんそうこう)(宮原貴子)

幼い頃、甘えん坊で泣き虫だった。今の
自分でもささいな事であったなと思っても。
いつまでも泣くヒマなく時は過ぎて、それでも
青くて危うくて、糸織細やかな心が泣いていた。
心の中で泣いていた。時々、そんな自分を
変えたいと思ったこともあった。でもこ
こまでやってきた、この心で生きてきたしこま
までこめてきた。それがどうだと言われたく
ない。誇れる様な事は何も自信無いし、
このままでもいいかはこれからのうみ重ね。
何かがぶつまく度、心が折れそうになった
り落ちこんでみたり、それでも自分と付き合
うしかないから。心の傷のばんそうこうは、
どこにあるか分からない。実はいつも身近で
足元で、意外な所にあるのかもしれない。
別にいいよ、人を、打ち負かさなくても。その
代わりにあなたも打ちのめさないように。
こうして、また日々が過ぎて、先に帰るんだ。

26.5月

(ホのエン)

(否定と肯定) (宮原貴子)

今までどんな事があった？ あなたの全てを否定するモノや人ばかりだった？ だけどどこかにか必ず肯定がある。「確かに人を追い詰める事も多いよね？ だけど私はあなたを肯定する。」そんな人がそばにいてくれたら、どれだけ生きる勇気がわいてくるだろう？ 人は人を見るときは、否定から始まる人も肯定から始まる人、どちらでもない人実に様々、なら、いっその事生きる勇気をもらせる人のそばがいいよね？ だって、良い悪いよりもあなた自身が生かされてなければいけないから。その事だけは分かってほしいし忘れないでほしい。何せ、誰にも言えない事言える事、全てを抱えてここまで生きて来たんだから。それはそれで、あなたかく見守る人もいるんだから、見えるモノ全てを自分で否定しないで。きっとどこかに勇気がある。

1966.5月

(ホエム)

(生き方それぞれ)(宮原貴子)

人生には悲しみや切なさはどこいでも転がってるけど、誰か同情や優しさを、思いやりと引き代えに安売りしろと頼んだって神様にお金を払って得られる保証はどこにもない。何せ、求めた得られた事が良い事だとも限らないし求めたら迷い道へハマるといふときもある。しかし求めなかったら求めなかったで、自分がどうするかを自分自身で考え好き嫌いしない。生きるとは、本当に買売取引と割り切れないときもある。何故やらそれが、自分の人生に思わぬ過ちとレッテルをはりつける引き金になるときもあるから。幸せのビジネスも港にはびこってるけど、薬か毒かは、ためしてみないと誰にも分からない。結局本当は何もかも紙一重なのかもしれないね。自分に起こった事を試練ととりがむしやらに向き合って成長するのかわ、不幸のままと終わらせてしまうかと悩む。

1265月

(ホムン)

(花と種) (宮原貴子)

人は、責任があろうとなかろうと、色々、好み
はあるけど、何かは必ず言い放つ。世の中、
自分の敵だらけだろうか？ それとも味方だけ
だろうか？ 私はあなたが好かれているかどう
かより、あなたの命が大事です。と言う私
は一人ではなかった。何度も何度も誰かが
教えてくれた。そばにいるあなたが教えて
くれた。立ち止まってもいい、いつか立ち上がれ
るなら。何より元気でいられるなら。どんな
風に生きてきたとしても、これからをどう生
きてきても、あなたはあなたしか生きられない。
なら、一番は、あなたの一番重きを置く事や
大事だと思える事を守ってね。色々な事が
あっても、ここまで生きてきた。何より自分を
生きてきた。大事な事、大事にしてきた事も
含めて。作物は、人と共に伸びていくね。
どんな花を咲かせても、どんな種を残して
も、やっぱり、あなたは共に生きていこう。